

## 施策評価調書(1)

評価対象年度	29年度
--------	------

<b>めざす姿</b>	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
<b>施策名</b>	4 魅力ある農業の振興
<b>施策関係課</b>	(経済部)農政課・グリーンセンター

**●施策の基本方針(目標)**

歴史と伝統を誇る花き・植木や野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みを作ることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標								
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	45.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	47.3	48.4					
指標②	名称	市内総生産額(農業)			単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(平成32年度)		現状値	1,306(平成24年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	1,392(平成26年)	579(平成27年度)					
指標③	名称	市民農園区画数			単位	区画	指標の種別	成果
	目標値	572(平成32年度)		現状値	492(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	579	551					
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	31年度計画額	32年度計画額
事業額	事業費	367,656	428,979	506,868	486,930	
	概算人件費	178,852	211,380	177,276	174,748	
	総事業費	546,508	640,359	684,144	661,678	

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 48	単位施策② 53	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			50.5	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 29年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性
			事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
① 都市農業の振興									
34100102	川口緑化センター 指定管理者管理運営費	経済部	125,336	123,513	131,645	134,773		50	現状維持 で実施
		農政課	1,640	1,560	2,054	1,580			
34100302	都市農業対策事業	経済部	65	161	199	199		46	現状維持 で実施
		農政課	2,050	2,730	1,975	1,185			
34100352	川口緑化センター 施設管理費	経済部	18,629	5,079	111,262	88,366		52	現状維持 で実施
		農政課	410	390	948	395			
34100401	川口農業塾開催事業	経済部	1,559	1,238	1,527	1,527		44	現状維持 で実施
		農政課	8,200	7,800	7,900	7,900			
34100455	開園50周年関連事業	経済部	—	78,403	—	—		50	完了
		グリーンセンター	—	33,618	—	—			
34100601	農地基本台帳 管理システム費	経済部	1,003	1,054	1,012	1,012		52	現状維持 で実施
		農政課	3,280	3,120	3,792	3,792			
34100701	農政関係広報事業	経済部	69	76	130	130		46	拡充して 実施
		農政課	1,394	1,326	1,343	1,343			
34100801	農政審議会経費	経済部	89	325	937	937		48	現状維持 で実施
		農政課	984	7,410	7,900	7,900			
34100901	農業経営改善事業	経済部	0	34	72	72		41	現状維持 で実施
		農政課	2,050	1,950	1,975	1,975			
34101001	緑化産業活性化事業	経済部	1,230	1,630	2,000	2,000		53	拡充して 実施
		農政課	3,280	3,120	3,555	3,555			
34101101	園芸振興事業	経済部	4,859	5,305	5,400	5,400		55	現状維持 で実施
		農政課	3,280	3,120	1,975	1,975			
34101201	農業改良普及事業	経済部	5,186	5,074	5,800	5,800		53	拡充して 実施
		農政課	6,150	5,850	5,925	5,925			
34101301	植物取引センター 指定管理者管理運営費	経済部	17,895	17,780	19,315	19,145		48	現状維持 で実施
		農政課	410	780	1,501	790			
34101401	特産園芸品展示即売会開催事業 (平成28年度をもって廃止)	経済部	2,317	—	—	—		—	—
		農政課	1,640	—	—	—			
34101501	第8回世界盆栽大会 出展事業	経済部	1,760	2,095	—	—		50	完了
		農政課	2,870	1,950	—	—			
34101601	農作物生産等実態調査 事業	経済部	435	420	495	495		40	現状維持 で実施
		農政課	902	858	869	869			
34101701	農業施設設置助成事業	経済部	0	0	750	750		35	現状維持 で実施
		農政課	1,230	1,170	1,975	1,975			
34101801	農業金融対策事業	経済部	277	235	189	189		54	現状維持 で実施
		農政課	1,230	1,170	1,580	1,580			
34101901	グリーンセンター 施設運営費	経済部	22,453	23,583	24,836	24,836		44	現状維持 で実施
		グリーンセンター	1,722	1,638	1,659	1,659			
34102001	イベント広報事業	経済部	15,145	15,563	17,157	17,157		56	拡充して 実施
		グリーンセンター	32,800	31,200	31,600	31,600			
34102101	わんぱく広場遊園事業	経済部	37,989	37,935	61,770	61,770		44	拡充して 実施
		グリーンセンター	9,850	11,700	11,850	11,850			
34102201	植物園花木展示事業	経済部	78,126	75,770	84,624	84,624		48	拡充して 実施
		グリーンセンター	41,000	39,000	39,500	39,500			
34102301	花き園芸振興事業	経済部	20,326	23,408	26,919	26,919		48	現状維持 で実施
		グリーンセンター	41,000	39,000	39,500	39,500			

単位施策名 ② 都市農地の保全									
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算額)	29年度 事業費 (決算額)	30年度 事業費 (予算額)	31年度 事業費 (計画額)	32年度 事業費 (計画額)	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34200101	農業体験事業	経済部 農政課	54	34	69	69		52	拡充して 実施
			2,870	2,730	1,580	1,580			
34200201	鳥獣保護緑地保全対策 事業	経済部 農政課	60	60	60	60		54	現状維持 で実施
			1,230	1,170	790	790			
34200301	地域農業活性化事業	経済部 農政課	12,794	10,204	10,700	10,700		54	縮小して 実施
			7,380	7,020	5,530	5,530			

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34100102	事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	経済部	農政課	問い合わせ先 2426・2427	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	川口緑化センターの利用者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。	指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。 ・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等) ・川口緑化センターの利用許可に関する業務 ・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、園芸相談及び展示会等の実施 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。		
	春・秋の安行花植木まつり	各1	回
	第20回春の園芸フェスタ		1 回
	第15回緑の学会・ふれあい講演会		1 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	03細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		131,543	123,513	131,645	134,773			
決算額(B)		125,336	123,513					
財源	特定財源	8,345	7,796	8,413				
	一般財源	116,991	115,717	123,232				
概算人件費(C)		1,640	1,560	2,054	1,580			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費(A又はB+C)		126,976	125,073	133,699	136,353			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口市営植物取引センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34100302	事業名称	都市農業対策事業	事業区分	主要な事業 政策宣言11
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2426・2427	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	全国都市農業振興協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市農地の保全と都市農業の振興を推進する。	全国都市農業振興協議会へ参画する。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	全国都市農業振興協議会に参画し、他の地方公共団体と連携して国等への働きかけを行った。	項目	実績 単位
		総会及び都市農業サミットへの出席	1 回
事業の成果【定性的評価】	全国都市農業振興協議会として、農業形態や課題の類似する都市と連携し意見交換を行うことで、都市農業の課題を浮き彫りにし、都市の特性に応じた制度の構築について国に協力を求めた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	01細々目	都市農業対策事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		250		250		199		199		
決算額(B)		65		161						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	65		161		199				
概算人件費(C)		2,050		2,730		1,975		1,185		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.35	0.00	0.25	0.00	0.15	0.00
総事業費(A又はB+C)		2,115		2,891		2,174		1,384		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	都市農業振興協議会に参画し、共通の課題を抱える都市と連携して、都市農地・農業の必要性について国等に理解と協力を求める活動を行ってきたが、都市農業振興基本法の制定等、国においても具体的な措置が整理されてきたことから、今後、協議会において、活動形態の変更も含め活動方針が審議される予定である。	30年度 現状維持で実施 31年度 縮小して実施 32年度 縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34100352	事業名称	川口緑化センター施設管理費	事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2426・2427	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 8 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	川口緑化センター	市民			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	施設の適正な維持管理を図る。	施設・設備の点検及び保守委託、並びに改修工事等			
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
		施設・設備の点検及び保守委託、並びに改修工事等	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	施設利用者の安全確保及びサービス向上に加え、施設の長寿命化が図られた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	01細々目	川口緑化センター施設管理費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		21,906		5,198		111,262		88,366		
決算額(B)		18,629		5,079						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	18,629		5,079		111,262				
概算人件費(C)		410		390		948		395		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.12	0.00	0.05	0.00
総事業費(A又はB+C)		19,039		5,469		112,210		88,761		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	施設の経年劣化が進んでおり、施設の長寿命化を図るため、計画的に補修工事を行っていく必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34100401	事業名称	川口農業塾開催事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 年間を通して営農実践研修を実施する。(研修用農地100㎡の1区画を受講者1人が耕作する)	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 1年を通じて農作物を育てることから、受講者は1月から12月を研修期間とし、農業技術指導員によるカリキュラムを通して営農実践研修を行った。	主な実績	
事業の成果 【定性的評価】	川口農業塾は、埼玉県農林振興公社主催の見沼たんぼ就農予備校の入門コースと同様のカリキュラムであり、成果として修了生4人が見沼たんぼ就農予備校へ進学している。	項目	実績 単位
		修了者数	16 人
		見沼たんぼ就農予備校の入学者数	4 人
		サポーター登録者数	4 人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口農業塾修了者数			指標・目標値の説明(算定式)	受講者の100%修了を目指す				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	22 達成		16 未達成		21		13		20
指標②	名称	見沼就農予備校への入学者数			指標・目標値の説明(算定式)	就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	4 未達成		4 未達成		5		5		5

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	02細々目	川口農業塾開催事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				1,871		1,947		1,527		1,527
決算額(B)				1,559		1,238				
財源	特定財源			777		481		814		
	一般財源			782		757		713		
概算人件費(C)				8,200		7,800		7,900		7,900
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00 0.00
総事業費(A又はB+C)				9,759		9,038		9,427		9,427

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	川口農業塾は就農を真剣に考えている者に対し、就農への第一歩として事業を行っているが、受講者の中には市民農園と同様に考えている者もいるため、申込みの段階で、川口農業塾の趣旨を説明し、理解してもらう必要がある。また、欠席日数が多い受講者に開催日の連絡をする必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34100455	事業名称	開園50周年関連事業			事業区分	主要な事業 その他
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	開園50周年の記念年にあたり、長きにわたり、親しみ、育んでいただいた市民等に対して感謝の意をこめて、記念事業を実施するもの。	記念式典、記念イベント、施設の美化補修。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	開園50周年記念事業委託、記念誌・ポスター等製作委託、清掃委託、樹木管理委託、大集会堂貴賓室改修工事、大集会堂補修工事、大集会堂植栽工事、茶室補修工事、茶室庭園補修工事、茶室給水管設置工事	項目	実績	単位
		記念誌製作枚数	1,000	枚
		ポスター等製作枚数	24,520	枚
記念事業開催月(11月)の入園者数	56,800	人		
事業の成果【定性的評価】	50周年記念式典、記念イベントを通し、多くの入園者に対して、当施設の魅力をPRすることができ、認知度・知名度を高めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	004細目	01細々目	開園50周年関連事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		79,032	—			—
決算額(B)		—		78,403				
財源	特定財源		—	25,000	—			
	一般財源		—	53,403	—			
概算人件費(C)			—	33,618	—			—
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	4.31	0.00	—	—	—
総事業費(A又はB+C)		—		112,021	—			—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	美化補修を実施した大集会堂や茶室の今後の利用促進を十分検討する必要がある。	30年度 完了 31年度 — 32年度 —



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34100601	事業名称	農地基本台帳管理システム費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 平成 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農地法第52条に備え、整備するもの

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等のうち農地所有者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地利用関係事務及び証明書発行事務の効率化に資する。	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報によるデータ異動処理を行う。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報によるデータ異動処理を行った。	項目	実績 単位
		市内農地面積	454 ha
		市内農地筆数	13,493 ha
事業の成果 【定性的評価】	農地基本台帳システムを最新データに更新し、効率的に農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	02細々目	農地基本台帳管理システム費	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			1,003		1,055		1,012	1,012
決算額(B)			1,003		1,054			
財源	特定財源		0		0		0	
	一般財源		1,003		1,054		1,012	
概算人件費(C)			3,280		3,120		3,792	3,792
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.48	0.00
総事業費(A又はB+C)			4,283		4,174		4,804	4,804

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係調査及び事務の遂行にあたり、当該システムの更新は必要であるため、引き続き情報の更新及び整理を確実に行う必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34100701	事業名称	農政関係広報事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内の農政及び農地に関する情報について、各農家及び関係機関に提供するとともに、市民の農の理解を促進する。	農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	平成29年10月と12月に農業だよりを発行した。10月号には、第5回都市農業サミットの開催、新たに任命された農業委員の紹介などの記事を掲載した。12月号には、生産緑地制度について、農地の賃貸借の解約等についてなどの記事を掲載し、各農家及び関係機関に情報を提供した。	項目	実績	単位
		「川口の農業だより」第86号(10月号)	1,500	部
		「川口の農業だより」第87号(1月号)	2,000	部
事業の成果【定性的評価】	各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
指標②	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	04細々目	農政関係広報事業				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				70		98		130		130	
決算額(B)				69		76					
財源	特定財源			0		0		0			
	一般財源			69		76		130			
概算人件費(C)				1,394		1,326		1,343		1,343	
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
総事業費(A又はB+C)				1,463		1,402		1,473		1,473	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	市民の農の理解促進のための各情報について、更なる周知が必要なことから、読者の興味を惹くような紙面とするため、2色印刷から4色印刷に変更する予定。	30年度 拡充して実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34100801	事業名称	農政審議会経費			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2426・2427		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民等		同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。		農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。			
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績			
	農政審議会並びに農政推進検討部会、農業関連施設有効活用検討部会及び特産農産物高付加価値化検討部会の開催		項目	実績	単位	
			審議会開催回数	2	回	
			部会開催回数	9	回	
事業の成果 【定性的評価】	農政審議会及び各部会の会議を通じて、農業者の代表者等から意見等を聴取することで、適正・的確で市民のニーズにあった農業振興施策を展開することができた。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況	/							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況	/							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	002細目	01細々目	農政審議会経費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額	/	202		451		937		937		
決算額(B)	/	89		325		/		/		
財源	特定財源	0		0		0		/		
	一般財源	89		325		937		/		
概算人件費(C)	/	984		7,410		7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.95	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)	/	1,073		7,735		8,837		8,837		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	農業従事者の高齢化及び担い手不足、都市化による農地の減少及び遊休農地の拡大等、本市の農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。そのような中、さらなる農業振興施策を展開するため、引き続き特産農産物の高付加価値化(ブランド化)について検討していく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34100901	事業名称	農業経営改善事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定農業者(農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画が市の認定を受けた農業者及び法人)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	「農業経営基盤強化促進法」に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成並びに支援していく。	埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・農業経営改善計画の認定事務 ・農業経営改善研修会及び農業委員会等との意見交換会の開催	項目	実績 単位
		新たに認定された認定農業者数	1 人
		農業経営改善研修会開催回数	1 回
事業の成果【定性的評価】	自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業経営改善研修会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	認定農業者数の3分の1
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	16	20	19		
		0 未達成	17 未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別			
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	003細目	01細々目	農業経営改善事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				122		72		72		72
決算額(B)				0		34				
財源	特定財源			0		0		0		
	一般財源			0		34		72		
概算人件費(C)				2,050		1,950		1,975		1,975
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25		0.00		0.25		0.00	
総事業費(A又はB+C)				2,050		1,984		2,047		2,047

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	8 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
41 /60	認定後のアフターフォロー及び支援策の拡充並びに効率的で効果的な研修会の実施について検討する必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34101001	事業名称	緑化産業活性化事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、緑化産業活性化事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民等及び農業関係団体の交流を通して緑化に対する理解を深めるとともに、農業関係団体の自主事業を支援することにより、地場産業である緑化産業の活性化を図る。	・グリーンロード・ウォーキング開催事業に対する支援 ・みどりの地球号in安行開催事業に対する支援	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		申請件数	2 件
事業の成果 【定性的評価】	農業関係団体の積極的な活動により、地場産業である緑化産業の活性化に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	グリーンロード・ウォーキング参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	500	700	600		
	実績値・達成状況	471 未達成	380 未達成			
指標②	名称	みどりの地球号in安行来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	8,000	8,000	8,000		
	実績値・達成状況	9,000 達成	9,000 達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	01細々目	緑化産業活性化事業
年度	27年度	28年度		29年度		30年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,230		1,630		2,000	
決算額(B)		1,230		1,630			
財源	特定財源	0		0		0	
	一般財源	1,230		1,630		2,000	
概算人件費(C)		3,280		3,120		3,555	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.45
総事業費(A又はB+C)		4,510		4,750		5,555	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
53 /60	ニーズに合った事業内容を検討する。	30年度 拡充して実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34101101	事業名称	園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援</li> <li>並木元町公園花植木市開催事業に対する支援</li> <li>展示・即売会参加団体への支援</li> <li>展覧会参加団体への支援</li> </ul>	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して交付金を交付した。	項目	実績 単位
		申請件数	24 件
事業の成果 【定性的評価】	特産園芸品の生産及び販売体制の近代化並びに市場の拡張及び地場産業の振興に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	18,450	未達成	19,317	未達成	
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	5,069	達成	1,935	未達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	02細々目	園芸振興事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				4,900		5,400		5,400		5,400
決算額(B)				4,859		5,305				
財源	特定財源			0		0		0		
	一般財源			4,859		5,305		5,400		
概算人件費(C)				3,280		3,120		1,975		1,975
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.40	0.00	0.40	0.00	0.25	0.00	0.25
総事業費(A又はB+C)				8,139		8,425		7,375		7,375

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
55 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34101201	事業名称	農業改良普及事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口市花の文化展開催事業に対する支援</li> <li>特産農業推奨事業に対する支援</li> <li>農業後継者育成事業に対する支援</li> </ul>	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して交付金を交付した。	項目	実績
		申請件数	4 件
事業の成果【定性的評価】	関係機関及び農業関係団体との緊密な連携の下に、農業経営の安定及び後継者の育成を図るとともに、特産園芸の近代化に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績から考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	3,500	達成	3,102	達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	03細々目	農業改良普及事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			5,200		5,200		5,800		5,800	
決算額(B)			5,186		5,074					
財源	特定財源		0		0		200			
	一般財源		5,186		5,074		5,600			
概算人件費(C)			6,150		5,850		5,925		5,925	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
総事業費(A又はB+C)			11,336		10,924		11,725		11,725	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	30年度	拡充して実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34101301	事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2426・2427	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	農業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。	指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。 ・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可 ・施設の維持管理及び軽易な修繕	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	05細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費
年度	27年度	28年度		29年度		30年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		17,895		17,780		19,315	
決算額(B)		17,895		17,780			
財源	特定財源	5,434		5,684		5,460	
	一般財源	12,461		12,096		13,855	
概算人件費(C)		410		780		1,501	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.10	0.00	0.19
総事業費(A又はB+C)		18,305		18,560		20,816	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口緑化センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34101501	事業名称	第8回世界盆栽大会出展事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体等	市内農業者等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	盆栽文化の普及及び技術の向上並びに国際間の親善交流を目的として開催される「第8回世界盆栽大会」に出展し、本市特産園芸品である盆栽のPRを行い、ひいては本市農業の活性化を図る。	さいたまスーパーアリーナで開催される「第8回世界盆栽大会」においてPRブースの出展	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をされたのか)	主な実績	
	・市内盆栽団体等との意見交換会の開催 ・第8回世界盆栽大会への出展	項目	実績 単位
		意見交換会の開催回数	1 回
		世界盆栽大会出展協力団体数	11 団体
事業の成果【定性的評価】	第8回世界盆栽大会へ出展し、販売及びPR活動を行ったことで、本市特産園芸品である盆栽及び盆栽手入れ道具等の知名度向上につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度
	実績値・達成状況				
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	006細目	01細々目	第8回世界盆栽大会出展事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,924		2,096		—		—		
決算額(B)		1,760		2,095						
財源	特定財源	0		0		—		—		
	一般財源	1,760		2,095		—		—		
概算人件費(C)		2,870		1,950		—		—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.25	0.00	—	—	—	—
総事業費(A又はB+C)		4,630		4,045		—		—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
50 /60	国内のみならず国外への特産園芸品のPR方を検討する。	30年度	完了
		31年度	—
		32年度	—

実施計画事業評価調査書

評価対象年度 29年度

事業コード	34101601	事業名称	農作物生産等実態調査事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内に住所を有する農業者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。	農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものは基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料として活用する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	29年8月に行われた農地基本台帳整備に係る調査に併せ、28年生産分の農作物生産等実態調査表を各農家に配付するとともに、回収した調査表を基に28年生産分の集計表を作成した。	項目	実績	単位
		農作物生産等実態調査 調査表配付	1,202	件
農作物生産等実態調査 調査表回収	423	件		
事業の成果【定性的評価】	市内営農者の農業生産の実態について、集計表を作成し、農業行政の基礎資料とした。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	01細々目	農作物生産等実態調査事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		523		521		495		495
決算額(B)		435		420				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	435		420		495		
概算人件費(C)		902		858		869		869
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.11	0.00	0.11	0.00	0.11	0.00
総事業費(A又はB+C)		1,337		1,278		1,364		1,364

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	調査の匿名性を優先しており、調査表は無記名回答となっていることから、毎年の調査結果が変動しても、その詳細な理由までは特定できていない。変動理由の特定には記名回答が必要となるが、それにより適切な回答が得られなくなる可能性がある。調査の方法を検討する必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34101701	事業名称	農業施設設置助成事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、園芸施設等を設置する場合に、その経費の一部を助成することによって、農業経営の改善及び近代化を推進し、集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	申請がなかったため未実施	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	未実施のため評価なし		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	28年度	29年度	30年度 31年度 32年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	28年度	29年度	30年度 31年度 32年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	04細々目	農業施設設置助成事業
年度	27年度	28年度		29年度		30年度 31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		519		750		750 750	
決算額(B)		0		0		0 0	
財源	特定財源	0		0		0 0	
	一般財源	0		0		750 750	
概算人件費(C)		1,230		1,170		1,975 1,975	
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.25	0.00 0.25 0.00
総事業費(A又はB+C)		1,230		1,170		2,725 2,725	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらもいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
35 /60	周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34101801	事業名称	農業金融対策事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要領、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。	農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給又は助成する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	既存借入分の利子に対して補給及び助成を行った。	項目	実績 単位
		農業近代化資金利子補給件数	3 件
		農業経営基盤強化資金利子助成件数	2 件
事業の成果 【定性的評価】	農業者等の経済的負担が軽減され、経営の安定に貢献するとともに、農業意欲の向上を図った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業近代化資金利子補給件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績及び景気動向を考慮	
	単位	件	指標の種別	成果			
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度		32年度
	実績値・達成状況	3 未達成	3 未達成				
指標②	名称	農業経営基盤強化資金利子助成件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績及び景気動向を考慮	
	単位	件	指標の種別	成果			
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度		32年度
	実績値・達成状況	2 達成	2 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	05細々目	農業金融対策事業				
年度	27年度	28年度			29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				328	287		189		189		
決算額(B)				277	235						
財源	特定財源			78	66		54				
	一般財源			199	169		135				
概算人件費(C)				1,230	1,170		1,580		1,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.15	0.00	0.15	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費(A又はB+C)				1,507	1,405		1,769		1,769		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらもいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	農業者の高齢化等により設備投資が抑制されているが、事業活用されるよう、今後も更なる周知を図る。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34101901	事業名称	グリーンセンター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 42 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること	入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託契約の締結及び自動券売機の借上契約の締結	項目	実績	単位
		平成29年度の入園者数	477,591	人
事業の成果【定性的評価】	入園者への適切な対応が図れたことで、利便性が高まった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	01細々目	グリーンセンター施設運営費	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			23,204	24,124	24,836	24,836		
決算額(B)			22,453	23,583				
財源	特定財源		9,206	9,088	10,077			
	一般財源		13,247	14,495	14,759			
概算人件費(C)			1,722	1,638	1,659	1,659		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
総事業費(A又はB+C)			24,175	25,221	26,495	26,495		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	売札業務等を滞りなく行い、各種事業に対する入園者の満足度をあげる。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34102001	事業名称	イベント広報事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 43 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にた“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民等	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。	・イベント開催 ・園芸教室 ・林間教室			
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	●イベント開催 桜草展・スプリングフェア・ホテル観賞の集い・ピアガーデン・グリーンフェスティバル・洋蘭展・椿展など ●園芸教室 コンテナガーデン・バラ/大菊/山野草/ハーブの育て方など・クリスマスリース作りなど ●林間教室 竹/木の実工作・カブト虫を育てようなど	項目	実績	単位	
		イベント開催		27	回
		園芸教室		21	回
林間教室		42	回		
事業の成果【定性的評価】	市民に憩いの場や家族とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。園芸・林間教室は、多種多様な植物等への興味や関心を促し、知識や技術を提供することができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	02細々目	イベント広報事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			15,265	15,730		17,157		17,157
決算額(B)			15,145	15,563				
財源	特定財源		6,364	7,585		7,488		
	一般財源		8,781	7,978		9,669		
概算人件費(C)			32,800	31,200		31,600		31,600
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費(A又はB+C)			47,945	46,763		48,757		48,757

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	事業を実施するにあたり、協力団体に加入している方の高齢化による継続的運営の不安定化及び次世代に継承していくことの困難等から、緑化関係事業への参加や運営につながるよう、子どもを含めた若い世代が興味や関心を持てるようなイベントや教室等を開催する。併せて広報PRについても継続的に行っていく。	30年度 拡充して実施 31年度 効率化して実施 32年度 効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34102101	事業名称	わんぱく広場遊園事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 60 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う	ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	わんぱく広場の施設修繕 ミニ鉄道の保守運行管理	項目	実績 単位
		ミニ鉄道利用者数	172,456 人
事業の成果【定性的評価】	安全・安心な施設維持及び管理運営が出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	03細々目	わんぱく広場遊園事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		38,568		38,450		61,770		61,770
決算額(B)		37,989		37,935				
財源	特定財源	32,016		32,076		36,407		
	一般財源	5,973		5,859		25,363		
概算人件費(C)		9,850		11,700		11,850		11,850
	従事職員人数(人) 常勤 再任用	1.00	0.50	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50 0.00
総事業費(A又はB+C)		47,839		49,635		73,620		73,620

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	施設等老朽化が顕著に見られるようになり、小規模修繕等では対応出来ないことが多くなってきている。特に人気の施設であるミニ鉄道や夢ふうせん等は今後、大規模修繕などが必要である。	30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施 32年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34102201	事業名称	植物園花木展示事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。	花木の維持管理及び植物の栽培 鳥類及び魚類の飼育 花木及び植物の展示 園芸、造園及び緑化等の相談 委託業務の指導、監督	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	(1)園内の植栽・樹木・芝生・花壇・園路や広場・自然林の管理及び植物展示等(2)園内清潔の保持、害虫の駆除等(3)鳥類の飼育等(4)園芸相談や技術指導の実施等(5)委託業務設計・指導・監督、園内廃棄物処理等	項目	実績 単位
		園芸相談及び技術指導等	322 件
事業の成果【定性的評価】	入園者、市民の緑化意識の高揚を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	04細々目	植物園花木展示事業
年度	27年度	28年度		29年度		30年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		80,045		77,715		84,624	
決算額(B)		78,126		75,770			
財源	特定財源	24,563		24,251		26,873	
	一般財源	53,563		51,519		57,751	
概算人件費(C)		41,000		39,000		39,500	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		119,126		114,770		124,124	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	一年を通して、来園者が、園内の植栽や展示などを見て安らぎや緑化意識の高揚を図ることができるような管理・展示を継続的に行なっていく必要がある。また、樹木の管理について適正な空間と安全確保のために、継続的かつ計画的に撤去作業をする必要がある。施設の健全度調査の実施と、中長期的な利活用方針の検討が必要である。	30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施 32年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	34102301	事業名称	花き園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業の振興並びに入園者の緑化意識の高揚を図る	植物の調査・研究 花き園芸の育種、実験栽培改良 園芸振興施設及び大温室の維持管理 園芸技術の指導 展示公開	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	盆栽管理委託、植物管理委託 園芸振興施設等管理委託 温室ガラス清掃委託 球根温度処理所冷凍機点検委託 各種展示及び研修	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	農業の振興並びに入園者の緑化意識の高揚が図れた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	05細々目	花き園芸振興事業		
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		22,899		23,428		26,919		26,919	
決算額(B)		20,326		23,408					
財源	特定財源	6,168		6,091		6,750			
	一般財源	14,158		17,317		20,169			
概算人件費(C)		41,000		39,000		39,500		39,500	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		61,326		62,408		66,419		66,419	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	入園者に対して温室等の植物の展示を行い、安らぎや緑化意識の高揚が図れるような管理等を継続的に行なっていく必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34200101	事業名称	農業体験事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民等が気軽に農と触れ合えるよう、農業体験を通じて農業を知る機会をつくり、農に対する理解促進を図る。	・サツマイモの植え付け及び収穫体験の開催	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	サツマイモの植え付け及び収穫体験	項目	実績 単位
		参加者数	67 人
事業の成果 【定性的評価】	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、都市農業への理解促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	004細目	01細々目	農業体験事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			56		40		69	69
決算額(B)			54		34			
財源	特定財源		24		10		30	
	一般財源		30		24		39	
概算人件費(C)			2,870		2,730		1,580	1,580
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.20	0.00
総事業費(A又はB+C)			2,924		2,764		1,649	1,649

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	農業体験は市民のニーズが高く、植え付けから収穫までの一連の農作業を実体験することにより、「農が誇れるまち川口」の実現に直結する事業と捉えている。今後は、農あるライフスタイルの推進とともに市民の農に対する理解促進を図るため、野菜づくりの知識やコツを学ぶ講習会に実施内容を変更して開催する。	30年度 拡充して実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34200201	事業名称	鳥獣保護緑地保全対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 43 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律、鳥獣保護農業緑地保全対策事業実施要領

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	鳥獣保護区内の自然環境及び農業緑地の保全を図る。	鳥獣保護緑地保全対策業務委託		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	新郷、安行、戸塚及び神根の4地区にわたる「川口鳥獣保護区」並びに旧芝川下流の「旧芝川鳥獣保護区」を巡回し、使い捨て針(釣針)の回収やかすみ網による密猟の発見及び通報などを行い、鳥獣の保護と農業緑地の保全管理を行った。	項目	実績	単位
		巡回回数	24	回
事業の成果【定性的評価】	委託業者が、定期的に鳥獣保護区内をパトロールし、使い捨て針(釣針)等の危険物の回収を行い、地区内の農地等が保全された。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	02細々目	鳥獣保護緑地保全対策事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		60		60		60		60
決算額(B)		60		60				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	60		60		60		
概算人件費(C)		1,230		1,170		790		790
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.10	0.00
総事業費(A又はB+C)		1,290		1,230		850		850

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	本事業は具体的な成果を数値で表しにくいものの、事業費以上の予防効果があると考えことから、現状維持で実施する。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	34200301	事業名称	地域農業活性化事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体等	市民等及び農業関係団体等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援</li> <li>農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援</li> <li>農業協同組合が実施する市民農園の新規開設及び運営管理に対する支援</li> <li>農業関係団体が行うブランド化に対する支援</li> <li>緑化産業カタログの増刷</li> </ul>		
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業関係団体等が実施する事業に対して交付金を交付した。</li> <li>市内の緑化産業をPRするカタログを増刷した。</li> </ul>	項目	実績	単位
		申請件数	17	件
事業の成果【定性的評価】	農業関係団体等の活性化及び特産農産物のPRに寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	18,000	18,000	18,000		
	実績値・達成状況	19,520 達成	23,373 達成			
指標②	名称	市民農園区画数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	区画	指標の種別	成果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	572	572	572		
	実績値・達成状況	579 達成	551 達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	03細々目	地域農業活性化事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		13,081		12,236		10,700		10,700		
決算額(B)		12,794		10,204						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	12,794		10,204		10,700				
概算人員費(C)	7,380		7,020		5,530		5,530			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.70	0.00	0.70
総事業費(A又はB+C)	20,174		17,224		16,230		16,230			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	30年度	縮小して実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施